

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

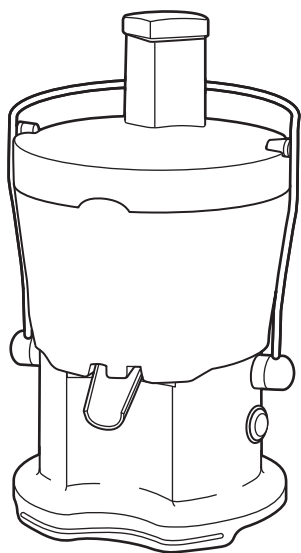
※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

感動をデザインします

TWINBIRD

家庭用

パワフルジューサー
KC-4673
取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
不適切な取扱いは事故につながります。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。
業務用などにご使用にならないでください。

RX1104B

● もくじ

安全上のご注意	1・2
各部の名称とはたらき	3
お使いになる前に	4
使いかた	5~8
しぼりカスを捨てる目安	8
調理例	
お手入れ	9
こんなときは	
アフターサービス	10
仕様	

安全上のご注意

必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明



は、してはいけない「禁止」の内容です。



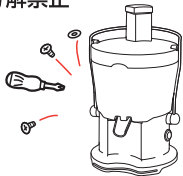
は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。

分解禁止



発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。

禁止

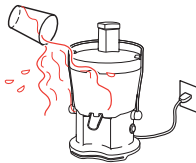


けがをする恐れがあります。



本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

水ぬれ禁止



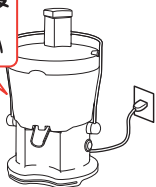
ショート・感電の恐れがあります。



運転中、運転直後にフタの取りはずしはしないでください。

禁止

運転中、運転直後フタは取りはずさない



けがの原因になります。カッター刃・フィルターの回転が止まるのを確認してからフタを取りはずしてください。



運転中にロックレバーをレバーロック位置からはずさないでください。

禁止

けがの原因になります。

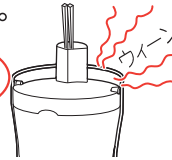


投入口には調理材料以外は入れないでください。

接触禁止

指・スプーン・箸等はいれしないでください。

材料以外入れない

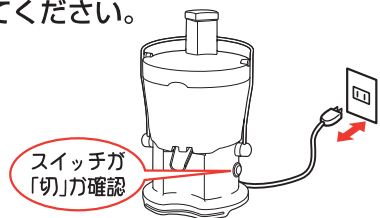


けがをする恐れがあります。



電源プラグをコンセントに差し込む前にスイッチが「切」であることを確認してください。

禁止



スイッチが「切」が確認



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

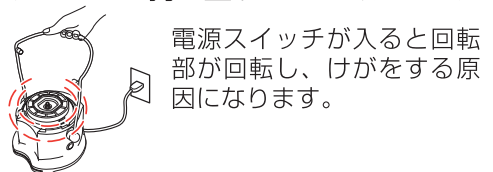
ぬれ手禁止

感電・けがの原因になります。



容器・フタをセットしない状態でロックレバーを持ち上げないでください。

禁止



電源スイッチが入ると回転部が回転し、けがをする原因になります。



カッター刃や回転軸を露出したままで運転しないでください。

禁止

けがの原因になります。



異常・故障時には直ちに使用を中止してください。

強制

すぐに電源プラグを抜いて販売店に点検・修理を依頼してください。

警告



禁止

交流100V以外では使用しないでください。コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。

火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



強制

電源プラグは根本まで確実に差し込んでください。

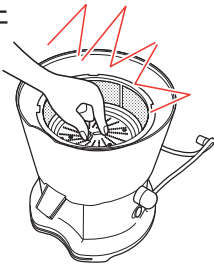
電源プラグのほころひは定期的に取り替えてください。

注意



接触禁止

カッター刃は鋭利ですので直接手を触れないでください。



けがの原因になります。特に、お手入れ時にご注意ください。お手入れは、付属のブラシを使用してください。



禁止

カッター刃は付属のカッター刃専用キーで確実に固定してください。

フタの内側と接触して、フィルターやフタが削れる恐れがあります。



禁止

煮沸消毒や食器洗い乾燥機で洗浄しないでください。

火の近くや食器乾燥機、電子レンジで乾燥しないでください。変形したり、故障の原因になります。



禁止

40℃以上の熱いお湯や材料は入れないでください。

やけどや変形の原因になります。



禁止

運転中に移動させないでください。

けがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電／漏電火災の原因になります。



禁止

不安定なところでは使用しないでください。

けがの原因になります。



強制

電源プラグを抜くときは、コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。



強制

部品の取付け・取りはずしやお手入れをするときは、スイッチを切り電源プラグを抜いてください。

けがをする恐れがあります。



強制

運転音や振動が大きいときは材料を減らしてください。



禁止

調理するとき以外は運転しないでください。

故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

押し棒

フタ

フィルターカバー

カッター刃

バルンサー

フィルター

容器

注ぎ口

本体

回転軸

投入口

ここから材料を入れます。

レバーロック

異常振動を防ぐために内部に液体が入っています。振ると水の音がしますが、異常ではありません。

ロックレバー

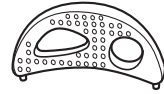
電源スイッチ

入

切

付属品

カッター刃専用キー…1個

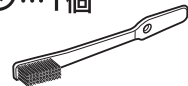


カッター刃の取付け、取りはずしの時に使用します。

注意

カッター刃は、カッター刃専用キーできちんと取付けてください。フタの内側と接触して、フィルターやフタが削れる恐れがあります。

ブラシ…1個



保護スイッチ

ロックレバーをレバーロック部に固定しないと電源スイッチを入れても動作しません。

警告

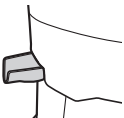
容器・フタをセットしない状態でロックレバーを持ち上げないでください。

電源スイッチを入れると回転部が回転し、けがをする原因になります。

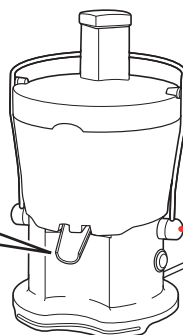
注ぎ口

上向き

下向き



ご使用後上向きにすると液垂れを防ぐことができます。



電源コード

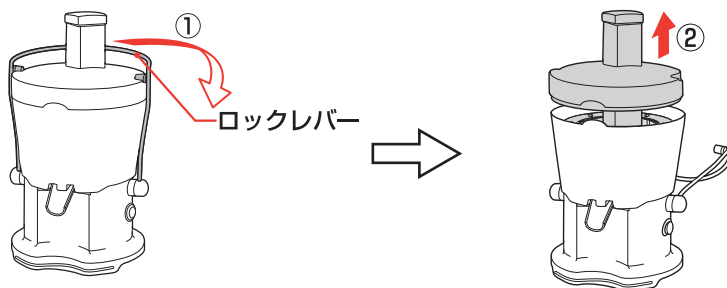
電源プラグ

お使いになる前に

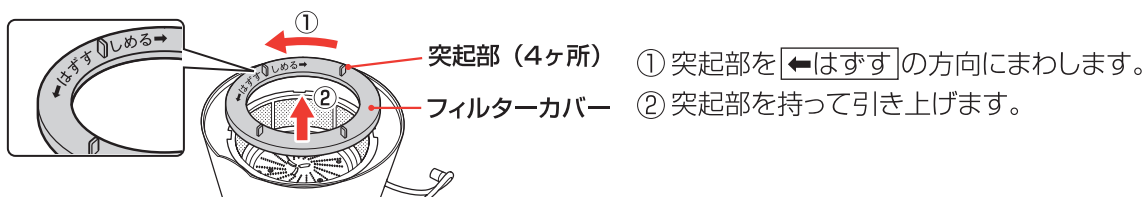
ご使用前に、押し棒・フタ・フィルターカバー・カッター刃・フィルター・容器・バルンサーを取りはずし、洗ってください。（「お手入れ」9ページをご覧ください）

！電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

1. ロックレバーを後側（電源コード側）に倒し、フタをはずします。

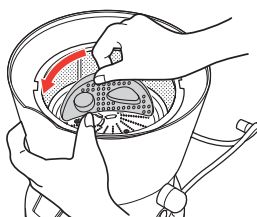
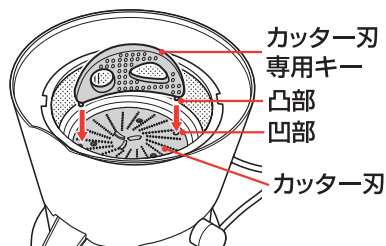


2. フィルターカバーをはずします。



3. 付属のカッター刃専用キーを使ってカッター刃をはずします。

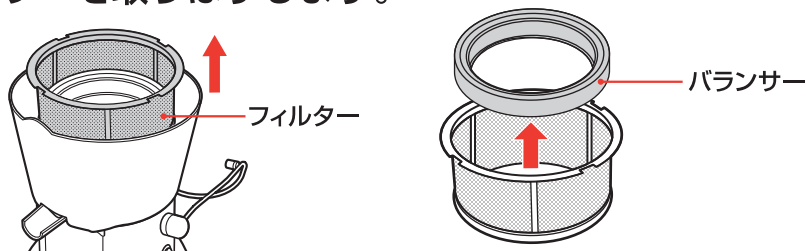
- ① カッター刃専用キーの凸部をカッター刃の凹部に差し込みます。 ② フィルターの枠を手で押さえながらカッター専用キーを左まわりにまわして、カッター刃だけをゆるめます。 ③ カッター刃のまわりを持って取りはずします。



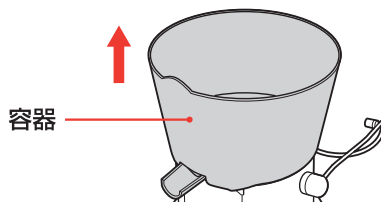
△注意

カッター刃の表面には鋭利な刃が無数にありますので絶対に触れないでください。けがの恐れがあります。

4. フィルターとバルンサーを取りはずします。



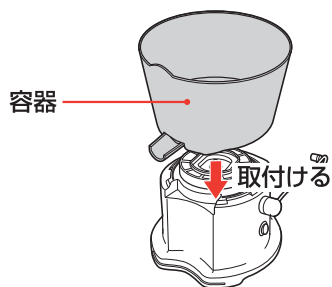
5. 容器を取りはずします。



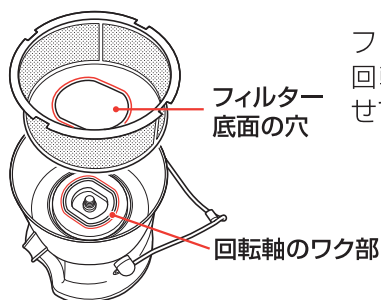
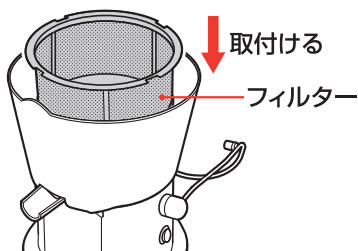
使いかた

〈セットのしかた〉 電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

1. 本体に容器を取付けます。

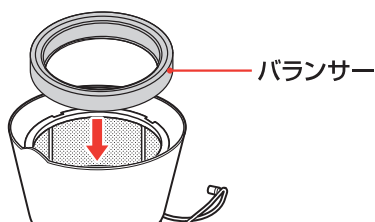


2. フィルターを取付けます。

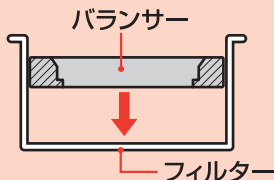


フィルター底面の穴と回転軸のワク部を合わせて取付けます。

3. バランサーを取付けます。

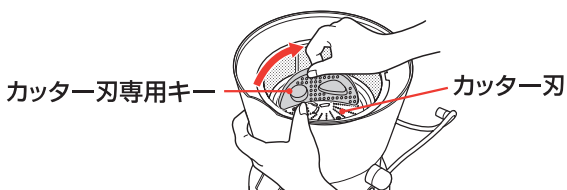


⚠注意



取付け時、上下方向を正しくセットしてください。逆向きにするとカッター刃が取付け出来ません。

4. カッター刃を取付けます。



フィルターの枠を手で押さえながら付属のカッター刃専用キーを使って、カッター刃を右まわりにまわして固定します。

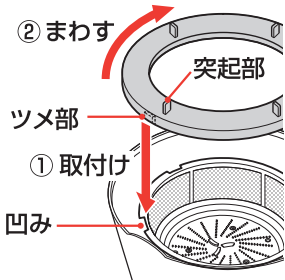
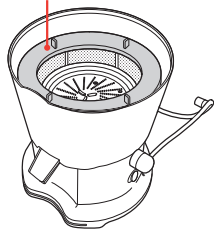
！止まる位置まできちんとまわしてください。

⚠注意

- カッター刃の表面にある刃に触れないように注意してください。
- カッター刃は、カッター刃専用キーできちんと取付けてください。フタの内側と接触して、フィルターやフタが削れる恐れがあります。

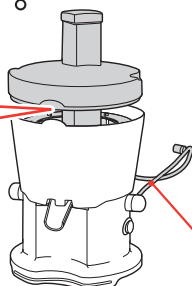
5. フィルターカバーを取付けます。

フィルターカバー



- ① フィルターカバー内側のツメ部(4箇所)をフィルター外周面の凹に合わせて取付けます。
- ② フィルターカバーの突起部を **しめる** の方向にまわします。正しく取付けていないと、運転時にはずれて、破損の原因になります。

6. フタを取付けます。

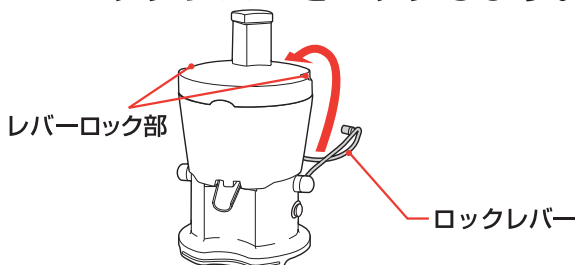


ロックレバーを電源コード側にします。

! ロックレバーを後側(電源コード側)にしていないと、きちんとセットできません。

フタの凹部と容器の凸部を合わせてセットします。

7. ロックレバーをロックします。

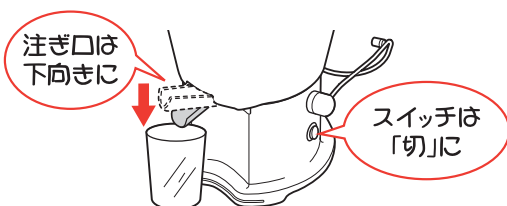


ロックレバーを上を持ち上げてフタのレバーロック部に固定します。

! きちんとロックしないと保護スイッチがはたらいで電源スイッチを入れても動作しません。

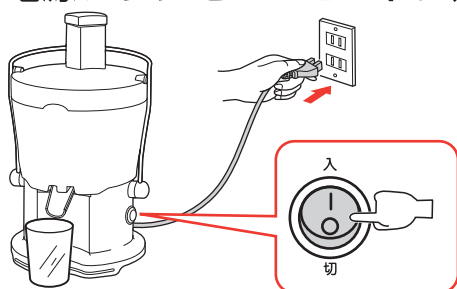
〈ジュースの作りかた〉

1. 注ぎ口にコップを用意し、注ぎ口を下に向けます。



- スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- コップの大きさは、高さ10~12cm程度が適当です。低いコップを使うと、ジュースがまわりに飛び散る場合があります。
- 注ぎ口が上向きのままだと、ジュースがまわりに飛び散る場合があります。

2. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にします。



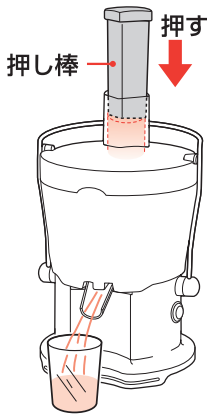
! 振動が大きいときや異常音がしたときは、すぐに電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、各部の取付けを確認してください。

使いかた(つづき)

3. 調理開始

材料を投入口から入れ、押し棒でゆっくり押し込みます。



⚠注意

- 禁止材料を使わないでください。(下記「禁止材料(例)」をご覧ください)
- 押し棒で材料を押し込んだ後に電源スイッチを入れたり、強く押しすぎたりすると、故障の原因になります。
- やわらかい材料(かんきつ類、トマトなど)は、材料投入直後、投入口からジュースが飛び散り、床や衣類を汚す恐れがあります。材料投入後はすばやく押し棒を差し込んでください。
- 材料を入れ終わってもしぼり切るまでは押し棒をはなさないでください。しぼりカスや種、ジュースが飛び出ることがあります。
- 材料を手で持ったまま、しぼらないでください。けがの原因になります。必ず押し棒を使用してください。
- 使用中に回転が止まりそうになったり、止まった場合、内部のしぼりかすや、材料を取り除いてください。再度、電源スイッチを入っても動作しないときは、モーターの保護装置がはたらいていますので、30分以上休ませてからご使用ください。

下ごしらえ

- 投入口に入る大きさに切ります。
- にんじん、りんごなどのかたいへたは取り除きます。(フィルターやカッター刃に引っかかると異常音の原因になります。)
- 葉菜類(キャベツなど)は、よく洗い砂などを落として柵切りにしてください。
- かんきつ類は皮をむきます。
- かたくて大きい種は取り除きます。(フィルターやカッター刃が傷む原因になります。)

上手にしぼるコツ

繊維の多い材料からしぼります。

1. 葉菜類(キャベツなど) → 2. 根菜類(にんじんなど) → 3. 果物類(りんごなど) → 4. かんきつ類

⚠注意

かんきつ類はできるだけ最後にしぼってください。果肉がフィルターに目づまりして、うまくしぼれないことがあります。

禁止材料(例) 次の材料は使わないでください。

粘り気の強いもの、水分の出にくいもの

とろろいも・モロヘイヤ・バナナ・もも・キウイ・かき・パイナップルなど
うまくしぼれず、ジュースになりません。

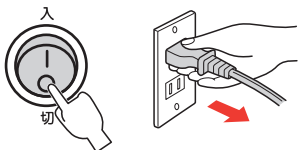
水分の少なく繊維の多いもの

葉草類・ごぼう・しょうが(※1)など

うまくしぼれずにフィルターが目詰まりし、異常振動の原因になります。

※1 香りづけなどで少量使用する場合は10g以下で使用してください。

4. 調理終了



ジュースが落ちなくなったらスイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

5. 注ぎ口を上向きにしてから、コップを取り出します。



よく混ぜてからお召しあがりください。

ご使用後は注ぎ口を上向きにしてください。
コップを取りだした後で、注ぎ口からジュースが垂れる場合があります。

△注意

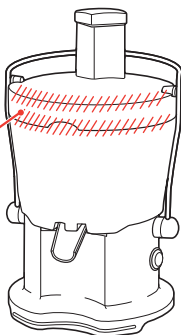
- フタは、必ずフィルターの回転が完全に止まってからはずしてください。しぼりカスが飛び散ったり、けがの原因になります。
- 続けてご使用になる場合は、しぼりカスを取り除き、カッター刃、フィルター、フィルターカバー、バランスを洗った後、お使いください。
- しぼりカスをためたまま使わないでください。ジュースの出が悪くなり、しぼりカスが混ざったり、運転音や振動が大きくなり、故障の原因になります。

しぼりカスを捨てる目安

しぼりカスがフタや容器に付着しだしたら使用を止め、フィルターにたまったしぼりカスを捨てた後、洗ってください。しぼりカすがたまままま使用を続けると、運転音や振動が大きくなります。

各部品の取りはずしかたは4ページをご覧ください。

しぼりカスの付着



しぼりカス付着の目安 (材料の種類、質により異なります)

- 調理例の各メニュー量を絞ったとき
- 一種類の材料を絞ったときの目安

りんご	中2個	(200g×2個)
にんじん	中3本	(200g×3本)
トマト	中3個	(160g×3個)
キャベツ	中1/2個	(400g)

調理例

赤いミックスジュース

材 料 (2人分)

トマト…………… 中1個 160g
 にんじん…………… 中1/2本 100g
 オレンジ…………… 中1/2個 100g
 レモン…………… 1/4個

オレンジ、レモンは皮をむいておきます。

柑橘類のミックスジュース

材 料 (2人分)

オレンジ…………… 中1個 200g
 グレープフルーツ…………… 中1個 200g
 レモン…………… 1/4個

皮をむいておきます。

野菜のミックスジュース

材 料 (2人分)

きゅうり…………… 1本 140g
 ピーマン…………… 1/2個
 りんご…………… 中1個 200g
 レモン…………… 1/4個

ピーマンはワタとたねを取っておきます。
 レモンは皮をむいておきます。

野菜の爽やかジュース

材 料 (2人分)

パセリ…………… 20g
 セロリ…………… 60g
 にんじん…………… 中1/2本 100g
 りんご…………… 中1個 200g
 レモン…………… 1/2個

レモンは皮をむいておきます。

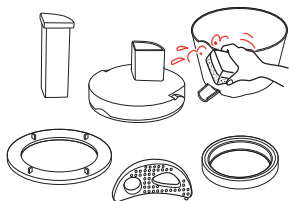
お手入れ… お手入れをするときは、スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



金属製・ナイロン製のたわしやみがき粉、ベンジン、シンナー、アルコール、台所用以外の洗剤、漂白剤などは使わないでください。

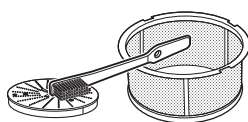
押し棒・フタ・容器・カッター刃専用キー・フィルターカバー・バルンサー

台所用洗剤（中性）をふくませたスポンジなどで洗い、水洗いした後、ふきんで水気をふきとってください。



- 使用後は、早めに洗ってください。付着したしぼりカスは乾くと取れにくくなります。
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。部品が変形したり、割れる原因になります。食器洗い乾燥機、食器乾燥機は使わないでください。
- 食材により変色する場合があります。にんじん・葉菜類の色素が付着し、変色する場合があります。スポンジなどで洗っても完全には取れませんが、ご使用上差し支えありません。色素が付着しないように使用後は早めにお手入れしてください。

フィルター・カッター刃



付属のブラシを使って洗ってください。

△注意

- カッター刃の表面に直接手が触れないように、十分ご注意ください。けがをする恐れがあります。
- フィルター、カッター刃は十分に水気をとって保管してください。ステンレスを使用していますが、水にぬれた状態にしておきますと、錆びることがあります。

本体



湿ったふきんできれいにふき取ります。水洗いはしないでください。故障の原因になります。

こんなときは

こんなときは？	調べるところ	処 置
動かない	本体に正しく部品をセットして、きちんとロックしていますか？	本体に正しく部品をセットして、きちんとロックしてください。(5~6ページ)
ジュースが漏れる	投入口から水やジュースなどを入れていませんか？	材料以外入れないでください。
	一度に投入する量が多くないですか？	材料は少しずつ入れ、ゆっくり押し込みます。
ジュースにしぼりカスが混ざった	しぼる順番が違っていませんか？	上手にしぼるコツ(7ページ)に従ってください。
	フィルターやフタにしぼりカスがたまっていませんか？	しぼりカスを捨て、部品をよく洗ってから再びセットしてください。
運転音や振動が大きいまたは、ジュースがしぼれなくなる	フィルターやフタにしぼりカスが長く付着していませんか？	しぼりカスを捨て、部品をよく洗ってから再びセットしてください。
	材料を投入口にたくさん入れすぎていませんか？	材料は少しずつ入れてください。
	押し棒を強く押ししていませんか？	押し棒をゆっくり押ししてください。
	バルンサーをセットしましたか？	バルンサーを正しく取付けてください。(5~6ページ)

保護装置について

この製品には、モーターの焼き付け故障を防ぐために保護装置がついています。長時間強い負荷がかかる材料を入れたときなど、保護装置が働いて製品の運転が自動的に停止します。故障ではありませんので次の手順に従って再び運転してください。

- ①スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②フィルター、フタについたカスを取り除く。
- ③30分以上休ませる。
- ④材料の分量を減らして再び運転する。

アフターサービス

1. 保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。

●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。
お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

- このパワフルジューサーの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後6年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-337-455

FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間: 平日(月曜～金曜) 午前9時～午後5時


〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	140W
製 品 寸 法 (約)	幅230×奥行230×高さ385mm
製 品 質 量 (約)	4.5kg
定 格 時 間	連続
電 源 コ ー ド (約)	1.2m
セ ッ ト 内 容	本体…1、容器…1、押し棒…1、フタ…1、カッター刃…1、カッター刃専用キー…1、 バルンサー…1、フィルター…1、フィルターカバー…1、レシピブック…1、ブラシ…1

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

	★長年ご使用のパワフルジューサーの点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか。	ご使用中

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 使用中に異常な回転音がある。
- 容器、カッター刃、フィルター、フィルターカバーなどにひび割れなどができた。
- その他の異常・故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。